

社内Sler・
Sler向け

効果的なロボットの 導入提案方法を伝授します

ー産業用ロボットシステムインテグレーター研修ー

ロボットシステムインテグレーター(Sler)の方がお客様へ、または社内で生産技術業務を担当する方が上司等へロボット導入を提案する際に、必要な知識や技能、提案能力の習得を目的とした研修です。最前線でご活躍されているSler企業の方に、導入成功事例や失敗事例も踏まえて勘所をお話いただくとともにワークショップによる実践的な演習も行います。

日時 令和4年8月30日(火), 31日(水)

午前9時30分から午後4時30分まで

場所 機械素材研究所 (米子市日下1247)



内容

(1日目) 座学
生産技術概論、品質管理、QC7つ道具
IE(Industrial Engineering)、
じならしの進め方、ロボット導入のステップ
安全と法令、リスクアセスメント
機械設計概論
電気設計概論
ロボット制御概論

(2日目)
プロジェクト管理と営業技術
(RIPS : Robot Integration Process Standard)

ワークショップ
(数グループに分かれ、課題の抽出と
レイアウト検討、導入費用などを話し合い、
最後にプレゼンを行います。)

講師

株式会社バイナス
取締役
永井 伸幸 (ナガイノブユキ) 氏

生産工場への自動機やロボット導入に加えて、
学生等の人材育成に活用されるトレーニングロ
ボットの開発などを行うSler企業。とっとりロ
ボットハブの構築にも尽力。

対象

- ・ロボットSI事業の技術者
- ・自動機設計・開発に携わる技術者
- ・生産技術業務に携わる技術者等

受講料・定員

- ・受講料 4,000円 (税込)
- ・定員 10名

[申込方法] 申込期限8月26日(金)

センターホームページの申込フォームをご利用ください。

鳥取県産業技術センター 研修 [検索](#)

こちらのQRコードから ⇒



[お問い合わせ先]
各担当者まで電話でお問い合わせ下さい。

電子・有機素材研究所
機械素材研究所

担当：山根 (0857-38-6200)
担当：吉田 (0859-37-1811)

用語説明

QC 7つ道具

パレート図、特性要因図、グラフ、管理図、チェックシート、ヒストグラム、散布図の7つの分析ツールを目的に合わせて活用し、品質改善を行う手法。

IE(Industrial Engineering)

工程管理技術の一つ。予算から原価管理、生産技術の開発や効率化など、経営上のさまざまな問題を工学的な手法にもとづいて合理的に推し進めていくことで、生産管理を最適化する手法。

じならし

自動機やロボットの導入にあたって「ありたい姿」を描いた上で現状とのギャップ抽出し、「業務フローの見直し」「しくみづくり」「標準化、ルール化」「役割・責任分担の明確化」「業務間のインターフェースの見直し」等を行うことでカイゼン活動を推進すること。

センターからのお知らせ

■とっとりロボットハブをご活用ください！

当センターでは、県内企業のAI・IoT・ロボット技術等の積極的な導入・活用の促進を目的として、「AI・IoT・ロボット実装支援拠点」（通称：“とっとりロボットハブ”）を活用した人材育成・導入支援の活動を行っています。

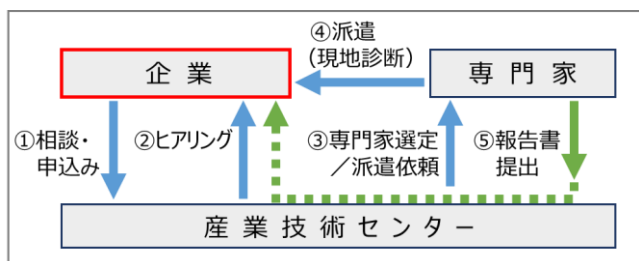
とっとりロボットハブでの事前検証のほか、持ち運び可能なロボットによる自社の生産ラインでの事前検証にもご活用いただけます。



■ロボット導入・工程自動化の専門家を派遣します

生産性向上に取り組む企業に、工程改善やロボット技術の専門家を派遣し、ロボット等の生産効率化機器の導入を支援する活動も行っております。

- 費用：無料
- 回数：原則1社につき1回
- 申込期間：令和5年2月末まで



お問い合わせ先	
とっとりロボットハブ	機械素材研究所 担当：吉田（裕）、新見 TEL：(0859)37-1811（代表）
専門家派遣	電子・有機素材研究所 担当：吉田（大） TEL：(0857)38-6200（代表）